

# 新入会員ご紹介

令和2年4月  
～令和3年3月



樋口 多恵子  
(株)WW  
代表取締役



丸山 千寿  
丸山会計労務事務所  
代表



江田 裕子  
(株)澤田商店  
代表取締役



鎌田 恵子  
(株)フューチャーライフ  
取締役



立石 千鶴  
信和電気工業(株)  
代表取締役社長



新野 晶子  
エステサロン クオーツ  
代表



小嶋 彩巴美  
(株)イツグループ  
代表取締役社長



日高 恵  
MMJ(株)  
代表取締役



渡邊 由美子  
(株)Labellevie  
代表取締役

## 2021年度の主な事業予定

5月12日(水)	大商女性会会員向け勉強会
6月9日(水)	【関西女性会連合会】総会・奈良大会(オンライン)
6月15日(火)	懇親事業「夏のおどり」鑑賞会
6月28日(月)	令和3年度通常総会
8月	【大阪府女性会連合会】理事会
10月13日(水)	経営事例発表会
10月22日(金)～24日(日)	【全国女性会連合会】福島全国大会&エキスカッション
11月	【大阪府女性会連合会】研修・交流会
2022年1月	新年互礼会
2月	経営事例発表会
3月	【関西女性会連合会】理事会&会長会議

## 編集後記

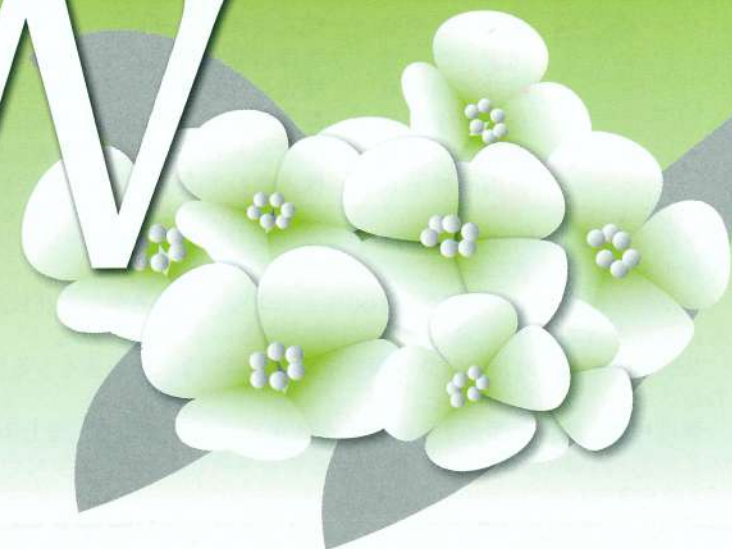
原稿執筆をご快諾いただいた皆様、お忙しい中、校正にご協力いただいた皆様、まず、御礼申し上げます。会員の皆様、大商女性会の活動記録をお届け致します。以下、ひとりごと・・・

3度目の緊急事態宣言が6月20日まで延長、伴って継続する休業要請、歯を食いしばることの多い毎日の中、5月開始したワクチン接種は加速し、現在オリンピックは詳細未定で開催予定。経験したことのないリアルへの制約の中で、女性会では、ハイブリッドの模索が始まっています。NOW秋号を発行できる頃、振り返ってみることになるこれからの半年を作るのは昨日今日明日の毎日。

しっかりと取り組んで進んでいきたいと思えます。

広報委員会委員長 末永 京子

# NOW



Vol.44 2021年 春号

スイートアリッサム 花言葉:「優美」「美しさに優る価値」

## 大阪府商工会議所女性会連合会研修交流会

令和2年11月30日 帝国ホテル大阪「孔雀東の間」

大阪府商工会議所女性会連合会研修交流会が、令和2年11月30日(月)帝国ホテル大阪にて開催されました。昼食後「関西経済の未来に向けて～ウィズ/ポストコロナ時代の中で:ダイバーシティ、DX、ブランド/デザインを昼食後に～」というテーマで講演会が始まりました。

- 講師は、経済産業省近畿経済産業局長、米村猛氏。
- 第一部 ポスト/ウィズコロナの経済産業施策
  - 第二部 企業のダイバーシティ経営の実践に向けて
  - 第三部 DX(デジタル・トランスフォーメーション)
  - 第四部 近畿産業局の主な取り組み
  - 第五部 大阪・関西万博



この様に書き出すと、盛り沢山で難しい事柄ですが米村氏のソフトでわかりやすい語り口に引き込まれました。コロナ禍の今、まさに聞きたかった内容で、特に最後の大阪・関西万博の概要のお話はお聞きしてワクワクしてきました。万博の目指す「いのち輝く未来社会の実現」に向けて、関西経済がより良い方向に進んで行く事を願います。

(デコルテクチュール 代表 古田 朋子)



## 大商女性会会員向け勉強会

「コロナ時代を開く経営者としての体験と今後の課題」 令和2年12月10日 大阪商工会議所「1号会議室」

講師 貴島 清美 株式会社ディプロム・グローバルソリューション 代表取締役  
高士 佳子 株式会社都島自動車 代表取締役  
筒井 照子 株式会社ニッテ 代表取締役  
長谷川沙織 株式会社ロジエ 代表取締役  
古澤みちよ 株式会社Ngrowing 代表取締役  
森田 祥子 株式会社Terracce 代表取締役

6名の登壇者の紹介に始まり、コロナの時代に課題と解決の方法を様々な職種の経営者が現状の取り組みを話して下さいました。

高士様は現状ハイヤー事業が100%キャンセルされる中でも社員の雇用を続けることに腐心されており、社員の士気も上がったというお話でした。

2回目（その当時）の緊急事態宣言による深刻な状況乗り越える気迫が感じられました。

貴島様は、成長分野のIT業界でも状況は一括りでなく、売上30%ダウン、新規ストップ、外国人採用ストップ等様々な情報を共有することでコロナ禍を乗り切ろうとされていました。

社員はテレワークで仕事をやりやすくなり、クライアントの打ち合わせもオンラインで出来るようになったとのこと。また2008年のリーマンショックの時期に学んだキャッシュフロー経営のことを思い出し、借入しないで乗り切られたそうです。

筒井様は海外に依存していたモノ作りがダメになり、これからはモノ作り自給率を上げていくことが大事、コロナで前に進まないことの方が悪いと力強いお話をして下さいました。

長谷川様はクルーズや天神祭中止の影響を受けた他、レストランの改装も延期となってしまったそうです。しかし、早めにテイクアウトメニューを導入し、楽天にも出店したことで業績は好調だそうです。人手不足も改善され大家さんも家賃を少なくしてくれて「助かってる」というお話でした。

古澤様は一番に切られるのが広告費という中で、50周年事業を予定していたのが中止になり、業績も90%ダウンして休業を経験されました。その際に「社内改革で徹底的に無駄を省き、経営者の考えを社員に伝わりやすくしたことで、社員が一丸となった」とのことです。知恵と工夫でマイナスをプラスに変えられたという力強いお話でした。

森田様は、デパート閉店、イベント中止、心斎橋店も休業し、一番靴が売れる5月に大打撃を受けたとのこと。ヨーロッパの景気もかなり打撃を受けているそうです。家賃交渉、助成金等で、「転んでもただでは起きない」との強い気持ちでコロナを乗り越えようとしていました。

そのあとの座談会でも事業の柱を3本くらい持ってないといけない。

健康でないと仕事はできない。

女性会のきずなは私たちの財産。

無駄な経験はないなど、たくさんの熱い話を聞け、有意義な勉強会でした。

(manri 代表 森田 万里子)



## 「コロナ禍での健康維持と免疫力アップ」

令和3年3月8日 大阪商工会議所「末広の間」

講師 木伏 睦枝 様 Trinity 代表



40才代を過ぎるといくら体力に自信のある方でも、少し自分の健康に気がかりなことが出て来るものです。この勉強会に出席された全員の方が自分にとって教えられてすぐ採り入れられるお話がきけて本当によかったと思われたにちがひありません。木伏氏はアメリカでパーソナルトレーナーの研修、実践を積み、また身体の構造、栄養学等幅広い経験と知識をもっておられる方です。お話の初めに蛍光灯になりたいですか？電球になりたいですか？の問いかけがありました。つまりよく言われるPPK(ピンピンコロリ)が一番よい終末の迎え方であることの確認です。高齢になってくると本人は元気だという意識を強くお持ちの方、また病気という自覚はないもの実は「未病」の状態を抱えている場合があるということです。実践的な示唆に富んだお話が多かったのですが下記にその一部の要点を紹介します。

○人の体はすべて食べたものによって作られている。だから食事はきちんとバランスを考

えて注意をもって摂ることを心がける。

○ビタミン、ミネラル、蛋白質植物系栄養素はそれぞれの役目がある。定期的に摂り入れることを習慣に。

○炭水化物や脂肪は肥満に繋がると摂ることを控える傾向がある。特に高齢の女性に。

しかしこれらは最低必要な量は摂らないと、逆に健康の維持に支障が出たり体力の維持ができない。

○「腸は第二の脳」と称される程ヒトにとって重要な存在なので、腸の健康状態には常に注意をもって臨むこと。

○ハードにする必要はないが肩や下肢、腕等への体操は毎日取り組むことが望ましい。

例え10分、15分でも毎日。

(税理士法人さくら会計 代表社員 貝原 富美子)

## 経営事例発表会

令和3年2月1日 大阪商工会議所「1号会議室」

### 5分で決意した企業 ～専業主婦になりたかったのに～



株式会社中央情報センター  
代表取締役  
安岡 優子 様

うことなのでしょう。

調査会社の方の訪問は身構えてしまうものですが、飾らないお人柄、テンポの良い口調が緊張をほぐしてくれそうで女性だから打ち解けられる事もあります。

未曾有の災禍の中ご自身のエピソードにユーモアがあり笑いが絶えない雰囲気包まれた会場内でした。

(株式会社山口安製作所 代表取締役社長 山本 有子)

### 体当たりで挑んだ機械商 ～13年の歩み～



株式会社トウヨウ貿易  
代表取締役  
岸澤 可乃 様

そんな時にお母様から言われた「最初から解っていたことでしょ、泣くぐらいなら辞めてしまいなさい!」の一言が、自分を取り戻し思い直すきっかけとなり、それからは納得のいくまで交渉することができるようになりました。

取引の現場には特注のピンクのヘルメットで存在感をアピールし、益々積極的にさらに強くなりました。

単身で伝手も知り合いもないベトナムに行き、またその帰りの空港では突然の紹介で面接したベトナム人を、これからのビジネスには英語も日本語もしゃべれる人材が必要だと即決で採用。

タイ語の先生に紹介されたタイ人の彼は、採用して7年目で2児のパパになり重要な戦力になっています。

仕入先を増やすために行ったスリランカでは、通訳の大学生を採用。

京都市の依頼でラオスに輸出した、中古の市バスはとても乗り心地が良いと評判で、そのプロジェクトをきっかけにラオスの政府機関ともつながりが出来、大手の(株)西松屋チェーンとのビジネスがスタートしたとのこと。

2019年には取引のあるインドの会社との合弁会社を設立など、高いコミュニケーション力で生き生きと仕事され、各国でパートナーシップを展開されるグローバルな経営者でいらっしゃいます。

ビジネスとして利益を上げる事はもちろんですが、今後は企業として社会に貢献することも重要だと考えられています。

中古の機械を海外に輸出して、役立つのは世界が取り組むSDGsにも貢献しています。また日本の製造現場での人材不足を補うために、ベトナムのハノイからは、短期労働力の研修生ではない、技術と能力を持った高度人材を国内に紹介されています。

今後は次世代エネルギーに目を向けた新たな商材を扱いたいと夢を語られました。

何事にも積極的に前向きに取り組み、迷うことなく早い決断をされることでまわりの方々から信頼されている姿が感じられ、私達も元気を頂くことが出来ました。

(株式会社ドゥ・ワン・ソーイング 専務取締役管理本部長 土井 玲子)